



浜りハ通信

31年1月1日
63号発行



浜通り訪問リハビリステーション

明けましておめでとうございます。幸多き新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

「難病」について連載最終回！ ピアサポートについて

難病について、3回シリーズでお届けしている最終回です。助成金や制度の話など、難しい内容が続きましたが、最終回は難病と共に生きる方々と「ピアサポート」について紹介します。

ピアサポートって？



ピアサポートの「ピア：Peer」とは **仲間** という意味があります。似たような経験や悩みを持ち、同じような境遇にある当事者同士（ピア）が互いの経験を分かち合い共感し合う活動のことを言います。この活動は患者さんやその家族の孤立感、喪失感の軽減のために有効であるといわれています。

難病の一つである「パーキンソン病」の当事者とその家族の方々が忘年会を開催した時の写真です。初めて参加して下さった方も多く、服薬のこと、病状のこと、介護のことなど、色々なことを包み隠さず話されていました。同じ悩みを持つ者同士だからこそ、共感できる部分が多くあるのですね！



パーキンソン病友の会 相双支部



参加された方の声

同じ病気を持つ友人は、いつも前向きで一生懸命。私も頑張らないと！と、いつも勇気づけられています。姿勢が悪くても、できるだけ皆に会いに外に出ようと思います。



いつも前向きな方々が多く、浜りハのスタッフも元気をもらっています！写真掲載のご協力、ありがとうございました！